

「ぼ～れぼ～れ」通巻 425 号所載

放っておくのも一手

三郷のつどい 2015 年 11 月 14 日（土）13:30～

ほっとサロンいきいき 参加者 16 名

クリニックふれあい早稲田の大場先生と、みさと健和団地診療所の宮本先生が参加されました。

Sさんは、介護度2の夫はデイサービスが大好きで、自分では会社に出勤しているつもりになっている。デイではとてもよい人になっているが、家に帰るとその反動か、気にいらないと暴力を振るうので、その時は逃げていると話されました。

本人は命令されたり、自分のやったことを否定されるのが嫌なのではないか、頼むように言ってみるとか、服の着方が少しおかしくても、すぐには否定はせず、しばらく放っておくのも良いのではないかと、周りからアドバイスがありました。

Hさんは、ご主人は62歳で、自分から病院に行って病気のことも分かっている。夫の病気が進まないようにと、若年の人達が集まるいろいろな会に夫と一緒にでかけている。会社を退職してから少しよくなったように思う。記憶はダメで、文字も分からなくなり始めている。三郷には若年の会はないですかとの質問に、医療法人財団「アカシア会」の高杉さんから、アカシア会では、若年の方を対象にしたデイサービスを始めている。そこでは利用者のやりたいことを基本にして、さまざまな活動をしている。

また若年の方を介護している家族の会を毎月1回開いていると話されました。